

弓削商船高等専門学校	開講年度	令和04年度(2022年度)	授業科目	海技演習1(航海)				
科目基礎情報								
科目番号	4A21	科目区分	専門 / 必修					
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 1					
開設学科	商船学科	対象学年	4					
開設期	前期	週時間数	2					
教科書/教材	ECDIS訓練テキスト: 海技大学校ECDIS研究会(海文堂)							
担当教員	高岡 俊輔, 湯田 紀男, 二村 彰, 野々山 和宏, 山崎 慎也							
到達目標								
ECDIS装置及び電子海図について理解を深め、適切に運用するための知識や技能を習得する。								
ルーブリック								
ECDIS装置を運用し、ECDISの航法機能を使用し、あらゆる関連情報を選択及び評価し、不具合の場合は適切な処置をとる	理想的な到達レベルの目安 ECDISを運用し、関連情報を説明できる	標準的な到達レベルの目安 ECDISを正しく運用できる	未到達レベルの目安 ECDISを正しく運用できない					
表示されているデータの潜在的な誤差及びデータの解釈におけるよくある誤りを説明できる	各種データの誤差を理解し、説明できる	各種データの誤差を理解できる	各種データの誤差を理解できない					
ECDISが航法援助装置として頼るべき唯一のものではない理由を説明できる	ECDISの有効性を理解し、説明できる	ECDISの有効性を理解できる	ECDISの有効性を理解できない					
学科の到達目標項目との関係								
専門 A2 専門 E1								
教育方法等								
概要	ECDISで用いられる各種データの理解や、基礎的使用方法を身につけ、海技演習2へ繋げる。							
授業の進め方・方法	授業は実施表に従い、スライドや教科書をもとに、効率的な実習を行う。							
注意点	登録電子海図情報表示装置講習引き当て時間: 電子海図情報表示装置の要素(5時間) 電子海図情報表示装置を利用した当直(4.5時間) 電子海図情報表示装置による航路計画及び監視(4.5時間) 電子海図情報表示装置の目標、海図及びシステム(3時間) 電子海図情報表示装置の責務及び評価(3時間)							
実務経験のある教員による授業科目								
授業の属性・履修上の区分								
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input type="checkbox"/> ICT 利用	<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画								
	週	授業内容	週ごとの到達目標					
前期	1週	ECDISの要素 - 1	ECDISについての基本的な知識を習得することができる					
	2週	ECDISの要素 - 1	ECDISについての基本的な知識を習得することができる					
	3週	ECDISの要素 - 1	ECDISについての基本的な知識を習得することができる					
	4週	ECDISの要素 - 1	ECDISについての基本的な知識を習得することができる					
	5週	ECDISによる当直 - 1	航行監視のための基本的な操作を理解することができる					
	6週	ECDISによる当直 - 1	航行監視のための基本的な操作を理解することができる					
	7週	ECDISによる当直 - 1	航行監視のための基本的な操作を理解することができる					
	8週	ECDISによる当直 - 1	航行監視のための基本的な操作を理解することができる					
2ndQ	9週	ECDISによるルート計画と監視 - 1	安全な航海計画を立案でき、航行監視業務を行うことができる					
	10週	ECDISによるルート計画と監視 - 1	安全な航海計画を立案でき、航行監視業務を行うことができる					
	11週	ECDISによるルート計画と監視 - 1	安全な航海計画を立案でき、航行監視業務を行うことができる					
	12週	ECDISのターゲット、海図及びシステム - 1	ECDISのシステムについて理解することができる					
	13週	ECDISのターゲット、海図及びシステム - 1	ECDISのシステムについて理解することができる					
	14週	ECDISの責務及び評価 - 1	ECDISの効果的な使用方法について理解することができる					
	15週	ECDISの責務及び評価 - 1	ECDISの効果的な使用方法について理解することができる					
	16週							
評価割合								
	定期試験	小テスト	レポート	口頭発表				
総合評価割合	0	40	0	0				
	成果物実技	ポートフォリオ	その他	合計				
	40	0	20	100				

知識の基本的な理解	0	20	0	0	20	0	0	40
思考・推論・創造への適応力	0	20	0	0	10	0	0	30
汎用的技能	0	0	0	0	10	0	0	10
リーダーシップ・コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	10	10
態度・志向性(人間力)	0	0	0	0	0	0	10	10